

今日は、新しい年度・令和4年度のスタートの日です。新しい先生、友達、先輩や後輩、新しい教科・科目、新しい環境など、いろいろな出会いがあります。新しい出会いを大切に、今日からの新年度を、スムーズにスタートしてください。

そのスタートにあたり、2つのことをお話しします。

1つ目は、「人は節目で伸びる」ということです。今日は、上の学年に進んだ皆さんにとって、一つの節目にあたります。人は節目の時に、これまでの自分を振り返って「自分を変えたい」、「もう一度やってみよう」という新たな気持ちになり、何か目標を立て、「よしこれを頑張ろう」という決意をします。そして、その目標が本当に自分にとって大切な目標であれば、そのために必死に頑張る。頑張ることで自信が付く。だから、その人は伸びていくということになるのだと思います。よく言われることですが「過去を変えることはできないが、未来と自分を変えることができる」ぜひ、この新しい年度のスタートをチャンスと捉え、今年度の目標をしっかりと立て、前向きな気持ちで学校生活を送って欲しいと思います。

2つ目は、「自分に向けられる厳しい言葉を、大切にしたい」ということです。昨年度3学期末の表彰式では、多くの人々の活躍が紹介されました。褒められる、称賛されるというのは、誰にとっても嬉しいものです。一方で、家の人から何か厳しいことを言われる、周囲の人から文句を言われる、あるいは先生から注意される、その時の気持ちはどうでしょうか。何かにつけて文句を言われる、厳しい意見をもらう、そうすると心の中は決して穏やかではありません。しかし、少し時間が経って心の中が落ち着いたら、冷静な気持ちで、ちょっと考えてみてください。文句を言われたこと、注意されたこと、厳しい意見をもらったことは、「くやしけれど、指摘されたことが当たっていないかどうか」「自分に向けられる厳しい言葉」の中に、実は自分を磨くヒントが隠されています。文句を言われた、厳しく注意された、だから腹が立った。ここで終わったら、人は変わらない、成長ができないのかなと思います。でも、その後、「それは悔しいけれど、当たっていないかどうか」「自分には見えていなかったけれど、その通りだ」と思った時点から、次に自分がとる行動が変われば、人としての魅力は高まります。

ところが、成長するにつれてそのような言葉、つまり「自分に対して向けられる厳しい言葉」は減っていきます。自分の家のことを考えてみてください。小学生の時よりも中学生、中学生の時よりも高校生になってからのほうが、家の人は一つひとつのことを、口うるさく言わなくなっているのではないのでしょうか。

4月からは法律が変わり、18歳の誕生日を迎えた人から、成人として扱われるようになりました。身近なところでは、クレジットカードが作れるなど、できることは増えます。一方で、高校生であっても18歳の成人であるために、自分自身が責任を取らなければならないこともたくさん出てきます。そうすると、自分に対して向けられる細々とした注意は、ますます減っていくこととなります。大人になると、気づいていても、言ってもらえないことがたくさんあります。だからこそ、「自分に向けられる厳しい言葉」を大切に、自分を磨くヒントにして欲しいと思います。

さて、学年ごとにメッセージを送ります。

3年生は、今日から最高学年として、名実ともに「深商の看板」を背負っていく存在になります。昨年度は、3年生が引退した後の部活動や学校行事では、学校の中心として活躍してくれました。こうした実績を踏まえ、さらに素晴らしい学校を目指して、深商をますます盛り上げて欲しいと思います。また、卒業後の自分自身の進路を決定するという、大きな壁にも挑戦していくことになります。今から心配や不安を持ちすぎる必要はありませんが、時間はあっという間に過ぎていきます。後で悔いを残さないよう、今日から一日一日を大切に、自分の進路希望を実現して欲しいと思います。

2年生は、中堅の学年として、午後に入學してくる予定の278名の新入生を、しっかりとリードする存在になって欲しいと思います。これまでの自分の学校生活を振り返ってみて、良いところは伸ばし、改善すべき点は素直な心で改めることが大切です。「先輩」と呼ばれる心地よさに安心することはなく、自分自身の心と体をしっかり鍛えて、本当の意味で「頼りになる先輩」になって欲しいと思います。

今の時期は、桜の花がきれいに咲いています。そのきれいな花を咲かせるためには、前の年の8月の終わりから9月の始めにかけて花の芽をつけます。それから7ヶ月もの間、厳しい冬の寒さにも負けずに風や雪にも耐え一日一日少しずつ成長を続け、春になるとあのようなきれいな花を咲かせます。このように植物は一気に成長することはしません。毎日毎日の積み重ねによって成長することができるのです。皆さんも、その日の気分によって行動するのではなく、一日一日の積み重ねを大切にしたいです。

そして、新型コロナウイルスの感染状況は落ち着きあるものの、少し増加傾向みられ、決して予断を許しません。基本的な感染予防対策や健康観察を引き続きしっかりして、健康で安全な高校生活を送って欲しいと思います。

結びに、この1年間の皆さんの成長と努力を大いに期待して、令和4年度第1学期始業式の校長講話を終わります。